

オリエントナノ便り

お客様各位

拝啓 残暑の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年の夏はお盆明けまで茹だりそうな猛暑が続きました。

お盆休みの最後の日、珍しく外出を控え高校野球をテレビで観戦しました。猛暑の中全力で戦う球児たちの姿に、そして真っ直ぐで真剣な美しい目の光に感動しました。

そんな時間を過ごした後、急に昔の封印していた思い出が蘇って来たのです。それは遠い昔、私が中学2年生の時でした。

本当は習っていたクラシックバレエを続けたかったのですが、家の事情で辞めざるを得なくなり中学1年生の時に兄も入っているバレーボール部に入部しました。

その中学はバレーボールが非常に強く、背の高かった私はハーフレフトに立たされ（その当時9人制でした。）朝練に始まり昼休みも砂袋の巻き上げやジャンプの特訓、そして放課後は遅くまでの猛練習の毎日でした。

その頃東京オリンピックで女子バレーボールに鬼の監督と言われる大松氏が居られました。その頃流行ったのが「回転レシーブ」です。

私達も夏の暑い日も綿入れのチョッキを来て回転レシーブの特訓を受けました。アタックも連続100本打ち等は毎日でした。

そして私が中学2年生の時、東京都の都大会で優勝したのです。優勝した瞬間、戦った仲間は泣きして喜んでいましたが、私だけが逆に信じられない程冷めて行きました。

「私がしたいことはこれでは無い！」と何故かはっきりその時感じたのです。そして翌日退部願いを出しました。

育てて下さったコーチの先生には本当に申し訳ない事をしたと思います。

その後の人生は紆余曲折ありましたが、お陰様で今では自分が本当にしたいことをやらせて頂いています。これも皆様のお陰だと改めて人生を振り返るお盆休みになりました。

皆様もそれぞれのお盆休みを過ごされたことと思います。良い思い出と共に初秋を迎えられますように！何卒今後とも宜しくお願い申し上げます。

敬具

平成30年8月31日

代表取締役 花輪麻美

